

産業環境委員会報告資料

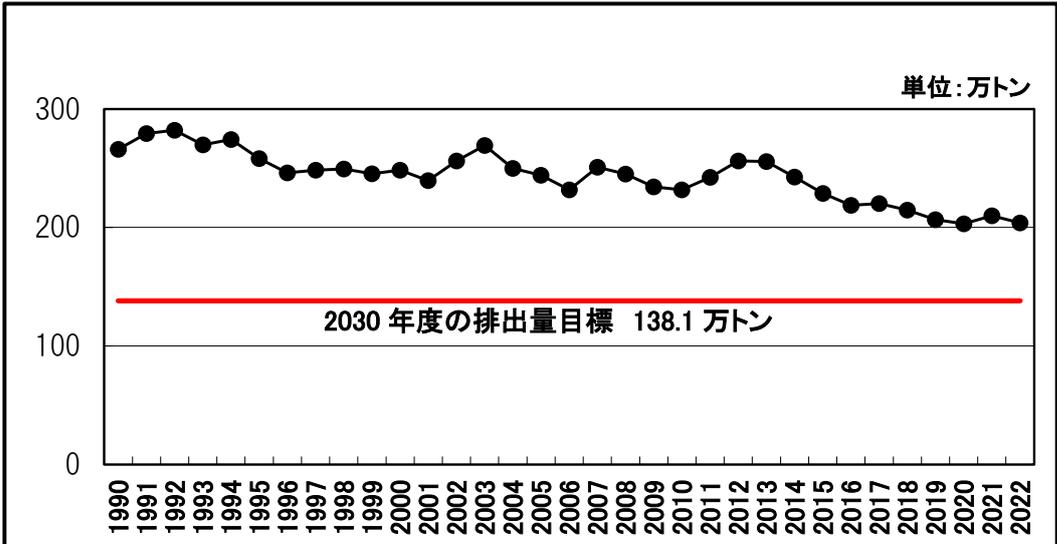
令和7年4月15日

報告事項件名	頁
(1) 区内の二酸化炭素排出量の算定結果について	2
(2) 令和7年度廃食油回収拠点の拡充と今後の方針について	7
(3) 「プラスチック分別回収事業全区展開実施に伴う資源化委託(中間処理施設)」 公募型プロポーザルの特定結果及び追加実施について	9

(環 境 部)

産業環境委員会報告資料

令和7年4月15日

件名	区内の二酸化炭素排出量の算定結果について																
所管部課名	環境部環境政策課																
内容	<p>最新の二酸化炭素（以下、「CO₂」という。）排出量実績(※)が公表されたため、概要を報告する。</p> <p>※ オール東京62市区町村共同事業の独自算定による排出量実績 ➡ 算定には都全体のエネルギー使用量を地域ごとの活動量で案分した数値が使用されている。</p> <p>※ 集計に時間を要するため、今回算定された最新の実績は2022年度の排出量となる。</p> <p>1 2022年度CO₂排出量</p> <p>(1) 足立区と23区、多摩地域のCO₂排出量 (単位：万トン)</p> <table border="1" data-bbox="429 909 1348 1209"> <thead> <tr> <th></th> <th>2022年度 排出量</th> <th>前年度比</th> <th>2013年度比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>足立区</td> <td>203.8</td> <td>▲2.9%</td> <td>▲20.3%</td> </tr> <tr> <td>23区</td> <td>3,916.3</td> <td>▲1.7%</td> <td>▲21.7%</td> </tr> <tr> <td>多摩地域</td> <td>1,326.0</td> <td>▲1.7%</td> <td>▲18.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>足立区環境基本計画改定版に定めるCO₂削減目標（基準年：2013年度） 2030年度 ▲46%以上</p> <p>(2) 足立区のCO₂排出量の推移</p> 		2022年度 排出量	前年度比	2013年度比	足立区	203.8	▲2.9%	▲20.3%	23区	3,916.3	▲1.7%	▲21.7%	多摩地域	1,326.0	▲1.7%	▲18.4%
	2022年度 排出量	前年度比	2013年度比														
足立区	203.8	▲2.9%	▲20.3%														
23区	3,916.3	▲1.7%	▲21.7%														
多摩地域	1,326.0	▲1.7%	▲18.4%														

(3) 部門別CO₂排出割合（2022年度）

	産業	家庭	業務	自動車	その他
足立区	10.5%	40.6%	22.2%	18.9%	7.8%
23区	5.9%	32.6%	42.1%	12.2%	7.1%
多摩地域	11.5%	38.2%	30.5%	15.6%	4.2%

※ 端数処理の関係で合計が合わないことがある。

(4) 部門別CO₂排出量の増減率（前年度比、基準年度比）

	2022年度排出量 (万トン)と 23区順位(少ない順)	前年度比 増減率	基準年度 (2013年度)比 増減率
農業	0.1(18位)	±0%	▲50.0%
建設業	4.0(19位)	▲7.0%	▲28.6%
製造業	17.2(19位)	6.8%	▲9.5%
産業部門計	21.3(19位)	4.4%	▲14.1%
家庭	82.8(20位)	▲5.4%	▲16.3%
業務	45.2(12位)	▲2.8%	▲26.0%
民生部門計	128.0(13位)	▲4.4%	▲19.9%
自動車	38.6(23位)	▲1.5%	▲29.2%
鉄道	6.4(17位)	▲5.9%	▲22.0%
運輸部門計	45.0(23位)	▲2.2%	▲28.2%
廃棄物部門	9.4(21位)	±0%	11.9%
総合計	203.8(17位)	▲2.9%	▲20.3%

※ 端数処理の関係で合計が合わない場合がある。23区順位は多い順。

2 現状分析と今後の対応

(1) 現状分析

ア 足立区は家庭部門の排出割合が4割を超えており、23区平均と比較しても高い数値となっているが、2022年度実績では、家庭部門の区民一人あたりの排出量が4.8パーセント減少した。

（6ページ、【参考データ】表4 CO₂増減率（家庭部門）参照）

イ 産業部門、特に製造業でのCO₂排出量が前年度比で6.8パーセント増加した。

（3ページ、（4）部門別CO₂排出量の増減率参照）

(2) 原因の考察

ア 新型コロナウイルス蔓延防止等重点措置が2022年3月に終了し、経済活動が再開したことに伴い、在宅勤務の減少等で家庭部門の排出量が減少に転じた。

イ 製造業については、ア同様に活動が再開したことで、製造、出荷量の増加に伴い排出量が前年度比で増加した。

(3) 今後の対応策

ア 家庭部門の更なるCO₂排出削減に向けた働きかけ

- ① ホームページ、SNSに加え、区のイベントへの出展拡大により、不便や我慢を伴わない身近な脱炭素の取り組みや補助金の情報を発信する。
- ② プラスチック分別回収全区展開に向けた丁寧な事前説明や、雑がみ分別の周知、生ごみ処理機の活用PR等、ごみの減量策を展開していく。

イ 区内事業者（製造業）の排出削減に向けた働きかけ

- ① 関連団体への周知と情報発信により、CO₂排出量に関する情報や契約する電気の見直し等について共有していく。
- ② 製造業に対する省エネ機器導入費補助に加え、令和7年度に新たに開始する省エネ診断費の補助に関する周知と併せ啓発活動を行う。

【参考データ】

3 近隣区との比較（2022年度）

(表1) CO₂総排出量（少ない順、数字は23区順位）

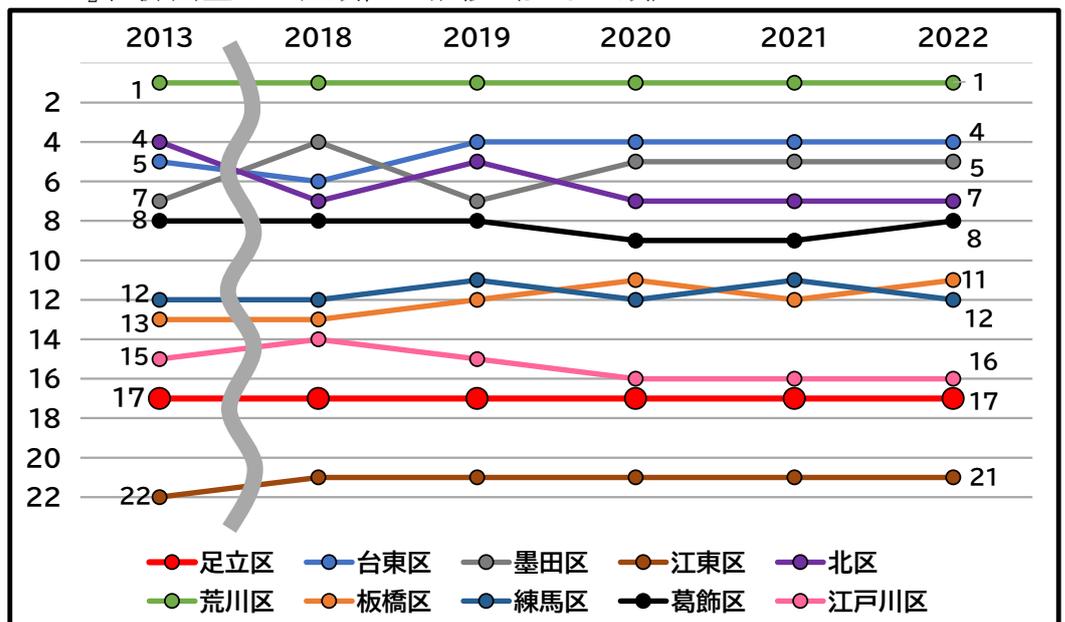
(単位：万トン)

区名	排出量	区名	排出量
1 荒川区	59.3	11 板橋区	172.8
4 台東区	99.3	12 練馬区	173.2
5 墨田区	102.9	16 江戸川区	189.8
7 北区	105.4	17 足立区	203.8
8 葛飾区	124.8	21 江東区	266.2

足立区は17位

23区中 1位 荒川区 23位 港区

CO₂総排出量23区順位の推移（少ない順）



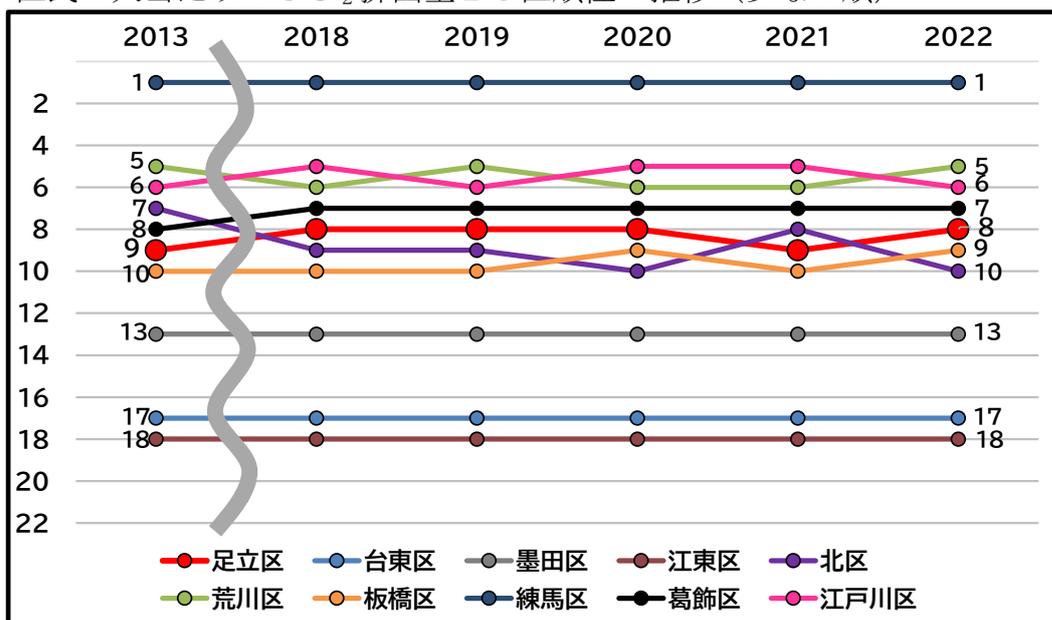
(表2) 区民一人当たりのCO₂排出量 (少ない順、数字は23区順位)
(単位: トン)

区名	排出量	区名	排出量
1 練馬区	2.31	9 板橋区	2.98
5 荒川区	2.74	10 北区	2.99
6 江戸川区	2.75	13 墨田区	3.77
7 葛飾区	2.77	17 台東区	4.67
8 足立区	2.94	18 江東区	5.07

足立区は8位 (前年度9位)

23区中 1位 練馬区 23位 千代田区

区民一人当たりのCO₂排出量23区順位の推移 (少ない順)



(表3) CO₂増減率 (総排出量)

	CO ₂ 排出量 (全部門合計)			区民一人あたりのCO ₂ 排出量 (全部門合計)		
	2021年度 (万トン)	2022年度 (万トン)	増減率	2021年度 (トン)	2022年度 (トン)	増減率
足立区	209.8	203.8	▲2.9%	3.02	2.94	▲2.6%
台東区	98.6	99.3	0.7%	4.64	4.67	0.6%
墨田区	105.8	102.9	▲2.7%	3.88	3.77	▲2.8%
江東区	271.8	266.2	▲2.1%	5.18	5.07	▲2.1%
北区	106.9	105.4	▲1.4%	3.02	2.99	▲1.0%
荒川区	60.9	59.3	▲2.6%	2.80	2.74	▲2.1%
板橋区	178.2	172.8	▲3.0%	3.05	2.98	▲2.3%
練馬区	177.8	173.2	▲2.6%	2.36	2.31	▲2.1%
葛飾区	128.8	124.8	▲3.1%	2.85	2.77	▲2.8%
江戸川区	194.8	189.8	▲2.6%	2.80	2.75	▲1.8%
23区全体	3,965.0	3,916.3	▲1.2%	4.08	4.05	▲0.7%

(表4) CO₂ 増減率 (家庭部門)

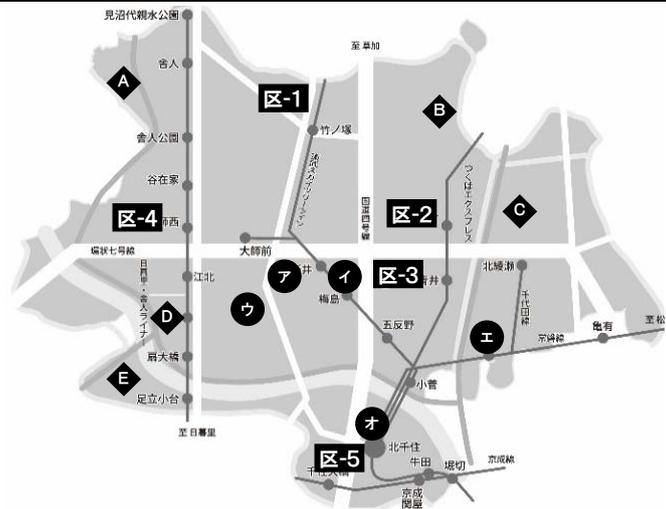
	CO ₂ 排出量 (家庭部門)			区民一人あたりの CO ₂ 排出量 (家庭部門)		
	2021 年度 (万トン)	2022 年度 (万トン)	増減率	2021 年度 (トン)	2022 年度 (トン)	増減率
足立区	87.5	82.8	▲5.4%	1.26	1.20	▲4.8%
台東区	34.1	33.3	▲2.3%	1.61	1.57	▲2.5%
墨田区	38.1	36.4	▲4.5%	1.40	1.33	▲5.0%
江東区	67.6	63.8	▲5.6%	1.29	1.22	▲5.4%
北区	45.3	43.3	▲4.4%	1.28	1.23	▲3.9%
荒川区	27.7	26.6	▲4.0%	1.27	1.23	▲3.1%
板橋区	73.3	69.7	▲4.9%	1.26	1.20	▲4.8%
練馬区	96.5	92.0	▲4.7%	1.28	1.23	▲3.9%
葛飾区	56.9	54.8	▲3.7%	1.26	1.21	▲4.0%
江戸川区	83.3	79.2	▲4.9%	1.20	1.15	▲4.2%
23 区全体	1,337.7	1,278.4	▲4.4%	1.38	1.32	▲4.3%

産業環境委員会報告資料

令和7年4月15日

件名	令和7年度廃食油回収拠点の拡充と今後の方針について																																				
所管部課名	環境部ごみ減量推進課																																				
内容	<p>令和6年度から実施している廃食油回収について、回収拠点施設を拡充し、さらなるごみの減量と再資源化の促進を図る。</p> <p>1 実施内容</p> <p>(1) 回収拠点</p> <p>回収拠点施設を2か所から5か所に拡充する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>令和6年度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>足立清掃事務所</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>保塚地域学習センター</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="text-align: center;"> <p>令和7年度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>足立清掃事務所</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>保塚地域学習センター</td> </tr> <tr style="border: 2px solid black;"> <td>③</td> <td>足立区役所本庁舎</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>鹿浜地域学習センター</td> </tr> <tr style="border: 2px solid black;"> <td>⑤</td> <td>あだち産業センター</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>【令和7年度の分布】</p> </div> <p>(2) 令和7年度以降の回収開始時期及び日時について</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>場所</th> <th>開始月</th> <th>回収日時</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>足立清掃事務所</td> <td>令和7年4月</td> <td rowspan="5">毎月第3土曜日 午前9時から正午</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>保塚地域学習センター</td> <td>※6年度から継続</td> </tr> <tr style="border: 2px solid black;"> <td>③</td> <td>足立区役所本庁舎</td> <td rowspan="3">令和7年5月</td> </tr> <tr style="border: 2px solid black;"> <td>④</td> <td>鹿浜地域学習センター</td> </tr> <tr style="border: 2px solid black;"> <td>⑤</td> <td>あだち産業センター</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 今後の方針について</p> <p>(1) 民間事業者との連携</p> <p>現在、区直営による2拠点と民間事業者による10拠点(次頁)を一体的に地図に表示し、区ホームページで情報発信している。</p> <p>今後は、民間事業者の取組内容や回収実績等の情報も盛り込むと共に、広報やSNS等での情報発信を通じて、認知度を高め、区民の利便性の向上を図る。</p>	No	場所	①	足立清掃事務所	②	保塚地域学習センター	No	場所	①	足立清掃事務所	②	保塚地域学習センター	③	足立区役所本庁舎	④	鹿浜地域学習センター	⑤	あだち産業センター	No	場所	開始月	回収日時	①	足立清掃事務所	令和7年4月	毎月第3土曜日 午前9時から正午	②	保塚地域学習センター	※6年度から継続	③	足立区役所本庁舎	令和7年5月	④	鹿浜地域学習センター	⑤	あだち産業センター
No	場所																																				
①	足立清掃事務所																																				
②	保塚地域学習センター																																				
No	場所																																				
①	足立清掃事務所																																				
②	保塚地域学習センター																																				
③	足立区役所本庁舎																																				
④	鹿浜地域学習センター																																				
⑤	あだち産業センター																																				
No	場所	開始月	回収日時																																		
①	足立清掃事務所	令和7年4月	毎月第3土曜日 午前9時から正午																																		
②	保塚地域学習センター	※6年度から継続																																			
③	足立区役所本庁舎	令和7年5月																																			
④	鹿浜地域学習センター																																				
⑤	あだち産業センター																																				

令和7年度
案内図



ア 区施設での回収

No	回収施設	住所
区-1	足立清掃事務所	東伊興三丁目23番9号
区-2	保塚地域学習センター	保塚町7番16号
区-3	足立区役所本庁舎	中央本町一丁目17番1号
区-4	鹿浜地域学習センター	鹿浜六丁目8番1号
区-5	あだち産業センター	千住一丁目5番7号

イ 資源買取市

No	回収施設	住所
A	株式会社トベ商事※	入谷八丁目10番29号
B	株式会社遠藤商店	花畑一丁目14番1号
C	株式会社新井商店	北加平町8番地26
D	飛鳥興産株式会社	江北二丁目3番18号
E	グリーンリサイクル株式会社	宮城一丁目4番8号

※ 令和7年4月は開催中止。5月以降の開催未定。

ウ 都と共同で実施する民間施設（株式会社イトーヨーカ堂）

No	回収施設	住所
ア	アリオ西新井	西新井栄町一丁目20番1号
イ	ヨークフーズ梅島	梅島二丁目31番26号
ウ	ヨークプライス西新井	興野一丁目12番7号
エ	イトーヨーカドー綾瀬	綾瀬三丁目4番25号
オ	ヨークフーズ千住	千住三丁目2番地

(2) 周知方法

PR効果の高い広報誌、LINE、チラシの戸別配付での情報発信に加え、回収拠点内の町会・自治会への説明やイベントなどの機会を捉えて周知していく。

令和7年4～5月 拡充回収拠点内の町会・自治会への説明
(中央本町・鹿浜・千住)

5月 LINE、あだち広報での周知(予定)

産業環境委員会報告資料

令和7年4月15日

件名	「プラスチック分別回収事業全区展開実施に伴う資源化委託(中間処理施設)」公募型プロポーザルの特定結果及び追加実施について
所管部課名	環境部足立清掃事務所
内容	<p>プラスチック分別回収全区展開実施に伴う中間処理施設に係る資源化委託選定委員会におけるプロポーザル方式の審査結果について、以下の事業者を契約の相手方として特定したので、報告する。</p> <p>また、特定すべき事業者数に達しなかったため、改めて追加のプロポーザルについて実施する。</p> <p>1 業務名 プラスチック分別回収事業全区展開実施に伴う資源化委託</p> <p>2 業務目的、内容 集積所から回収したプラスチックを選別・異物除去のうえ、一時的に保管し、指定法人等へ効率よく引き渡すため圧縮・梱包（ペール化）をする。</p> <p>(1) 回収したプラスチックの搬入作業 (2) 選別・異物除去・圧縮・梱包等 (3) 指定法人への引渡し</p> <p>3 特定した相手方</p> <p>(1) 事業者名 大谷清運株式会社（代表者 二木 玲子） 所在地 東京都葛飾区水元一丁目3番13号 事業所所在地 東京都足立区辰沼二丁目16番5号</p> <p>(2) 事業者名 株式会社東京クリアセンター（代表者 熊木 浩） 所在地 東京都港区赤坂二丁目5番4号 赤坂室町ビル7階 事業所所在地 東京都足立区入谷七丁目12番22号</p> <p>4 申込事業者数 5事業者</p> <p>5 現在の受託者 株式会社 要興業</p> <p>6 提案価格</p> <p>(1) 大谷清運株式会社 115,500,000円(税込) (2) 株式会社東京クリアセンター 114,840,000円(税込)</p> <p>7 業務期間 令和8年4月1日から令和9年3月31日まで ※ 履行状況が良好な場合に限り、最長2回まで(令和11年3月31日まで)契約を更新することができる。</p>

8 特筆すべき提案概要、評価した理由・ポイント

- (1) 機械選別や手選別による異物除去、リチウムイオン蓄電池混入防止対策が徹底されていること。(大谷清運、東京クリアセンター)
- (2) 区の専用プラントとしての活用や、区内に工場があるため収集運搬の効率性や再生可能エネルギー使用に伴う二酸化炭素削減が期待できること。(大谷清運、東京クリアセンター)

9 特定までの経緯

- (1) 公募期間 令和7年1月22日から令和7年2月6日まで
- (2) 選定委員会

ア 委員会開催状況

	開催日	内容	審査事業者数
第1回	1月20日	選定方法や評価項目等の確認	—
第2回	3月12日	第一次選考(提案書提出者の選定:書類審査)	5事業者
第3回	3月27日	第二次選考(事業者の特定:プレゼンテーション、ヒアリング)	2事業者

イ 選定委員構成(計5名)

委員区分	役職	人数
学識経験者	大学教授	2
区民委員	町会自治会役員等	2
区職員	副区长	1

ウ 審査項目及び審査結果

別紙資料「プラスチック分別回収事業実施に伴う資源化委託提案書提出者選定結果(第一次)及び提案書提出者特定結果(第二次)」のとおり

10 プロポーザル追加実施

- (1) 追加特定事業者数
2者程度の特定を予定
- (2) 応募・提案書提出に際する留意事項

当初プロポーザル	追加プロポーザル
ア 当区のプラスチック中間処理を実施していないこと。	ア 既に、当区のプラスチック中間処理を実施している事業者(プロポーザルによって特定された事業者を含む)から、特定された処理施設以外の処理施設の提案を認める。

- (3) プロポーザル選定委員の構成
当初プロポーザルと同じ委員構成とする。

(4) 今後のスケジュール（予定）

令和7年5月1日 第1回選定委員会（募集・選定方法の決定）
参加事業者の募集

6月～7月 第2回選定委員会（参加表明書の審査、選定）

7月～8月 第3回選定委員会（契約候補事業者の特定）

令和8年4月 中間処理施設への搬入開始

11 今後の方針

追加実施するプロポーザルでの特定については、収集運搬車両確保のため、出来るだけ期間を短縮して実施する。

プラスチック分別回収事業実施に伴う資源化委託提案書提出者選定結果（第一次）

※ 税理士による財務診断結果において、総合評価が「不適合」の事業者は選定対象から除外する（A社、E社、F社）

※ C社については参加表明書提出後辞退

評価項目	評価の視点	指標	配点	A社	大谷清運	東京クリアセンター	E社	F社
経営規模	経営規模及び経営状況は健全であるか	税理士の総合評価	50	－	50	25	－	－
業務遂行力	業務遂行体制は妥当か	業務を実施する管理体制、技術者等の配置が適切であるか	100	－	50	50	－	－
瑕疵担保力	瑕疵に対する責任が取れるか	賠償責任保険の有無	25	－	25	25	－	－
業務執行技術力	当該業務を遂行するにあたり必要な知識・経験を有しているか	同種・類似業務等の実績、施設までの搬入距離など	150	－	150	125	－	－
地域精通度	業務対象エリアの特殊情報に熟知しているか	特別区等、近隣エリアにおける業務実績	75	－	75	70	－	－
社会貢献度	社会貢献度・地域貢献度があるか	ISO14001等環境規格の取得状況、環境へ配慮した施設	50	－	20	25	－	－
事業者の方針	当該業務に対する取組意欲等、見識はあるか	プラスチック資源循環推進法における中間処理施設の役割の理解度	50	－	25	25	－	－
合 計			500	－	395	345	－	－
区内に本店がある場合10点加算			50	－	0	0	－	－
総合計（満点＝550点）			550	－	395	345	－	－

プラスチック分別回収事業実施に伴う資源化委託提案書提出者特定結果（第二次）

評価項目	評価の視点	指標	配点	大谷清運	東京クリアセンター
業務の理解度	当該業務の理解度は十分か	提案事業社のプラスチック分別回収業務の理解度	50	50	50
業務遂行能力	実施体制の人員体制	搬入時の車両の安全性、選別、保管、引き渡しを行うまでの人員体制	75	70	61
	業務全体を通して技術力及び履行能力はあるか	搬入時の収集車両の安全性、選別を行うまでの保管状況、機械選別や手選別による異物除去、リチウムイオン蓄電池混入防止対策、環境に配慮した設備	175	175	153
	区内全域展開を見据え、搬入状況の分析や課題の洗いだしへの協力	搬入状況の分析、資源化不適合等の課題共有	50	50	42
コスト	提案内容に対するコストの妥当性	提案見積価格（積算内訳明記）	50	44	42
危機管理	火災発生時や機器故障時の対策は妥当か	火災発生時及び機器故障時の対応	50	34	38
説得力・意欲	提案事業者の説得力、意欲、熱意、理解、協調性があるか	提案書とプレゼンテーション内容との整合性	25	25	25
資料調整力	報告資料が分かりやすくまとまっているか、誤字・脱字はないか。	資料調整力	25	23	21
合 計			500	471	432
区内に本店がある場合5点、区内に支店がある場合3点加算（上限5点）			25	15	15
総合計（満点＝525点）			525	486	447